

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書： （ 第一学習社「高等学校 現代の国語」 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

多文化共生社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や想像したりする力を伸ばし、多文化・他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や多文化共生社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多文化共生社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者や多文化共生社会との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、自己を向上させようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	書	読					
前期	話し方の工夫	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。 ・相手により伝わりやすい表現方法を理解する。	○			・積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合おうとしている。 ・積極的に場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に婉曲的な表現を用い、学習課題に沿って使おうとしている。 ・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。	○	○	○	4
	「本当の自分」幻想（平野啓一郎） 評論のしるべ	・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠の示し方を工夫する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	水の東西（山崎正和） 評論のしるべ	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。	○	○	○	・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	12
	待遇表現	・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・敬語表現が選択される視点を理解する。	○			・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 ・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○		1	
後期	無彩色の色（港千尋） 評論のしるべ	・ネズミ色のイメージをマイナスからプラスに転じる論展開と、筆者が論拠としてあげる事例を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 ・日本文化について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・調べたことを整理して、説明資料にまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	・例示された個別の情報を具体的に検証し、筆者の考えとの関係を説明しようとしている。 ・本文中で例示された「茶の湯」と「千利休」について調べたことを進んで報告し、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	10
	情報の探索と選択	・必要な情報を探す方法を理解する。 ・情報の信頼性や妥当性の吟味の仕方を理解する。 ・情報の探索と選択を実践できるようになる。		○		・進んで情報探索の重要性を理解し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。 ・進んで情報の信頼性や妥当性を確かめ、学習の見通しをもって吟味しようとしている。 ・情報の妥当性を具体的に検討し、学習課題に沿って情報を探そうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
	水の東西（山崎正和） 評論のしるべ	・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。	○	○	○	・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えをもち、表現を工夫してまとめようとしている。 ・水を用いた芸術や仕掛けについて積極的に題材を探し、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	○	○	○	12
	スピーチで自分を伝える	・自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。	○			・進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。 ・進んで表現や話し方を工夫し、今までの学習を生かして効果的に話そうとしている。 ・積極的にスピーチを聞き、評価シートを活用して評価しようとしている。	○	○	○	4
定期考査						○	○		1	
合計										
60										

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書： （ 第一学習社「高等学校 標準言語文化」 ）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

多文化共生社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

論理的に考える力や想像したりする力を伸ばし、多文化・他者との関わりの中で自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や多文化共生社会に関わろうとする態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
多文化共生社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、また、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、もの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数		
			話	聞	書	読							
前期	とんかつ（三浦哲郎） 文学のしるべ	・謎の母子の登場に始まる話の構成と展開を理解し、せりふや行動から人物像と心情を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。			○	○	・冒頭から母子の滞在の目的がわかるまでを注意深く読み、構成と展開の工夫について批評している。 ・叙述を基に人物像や心情を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。		○	○	○	8	
	道程（高村光太郎）	・近代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に示された作者の思いを読み取る。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・近代詩の表現の技法とその効果について理解する。			○	○	・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしている。 ・詩の展開や表現の仕方を含め、進んで作者の思いを読み取ろうとしている。		○	○	○	8	
	定期考査								○	○		1	
	古文の学習 〔古典のしるべ〕平仮名の誕生	・我が国の言語文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。 ・「古典のしるべ」を活用し、時間の経過による文字の変化について理解する。			○	○	・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・時間の経過等による文字の変化について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ・我が国の言語文化に興味・関心を深めている。		○	○	○	6	
	なよ竹のかぐや姫	・現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として動詞の活用について、文語のきまりを理解する。			○	○	言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。 ・用言の活用について理解し、学習の見通しをもって正格活用動詞の活用表を作成しようとしている。		○	○	○	10	
定期考査								○	○		1		
後期	羅生門（芥川龍之介）	・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・作品の成立した背景を踏まえて、内容の解釈を深める。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。			○	○	○	・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・老婆の語る論理を、叙述を基に読み解き、下人がどのように判断したか、説明しようとしている。		○	○	○	12
	「祭り」をテーマに随筆を書く	・我が国の伝統文化に関する題材を選んで、随筆に書き表す。			○	○	・我が国の言語文化の特質について理解している。 ・「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 ・「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書こうとしている。		○	○	○	5	
	定期考査								○	○		1	
	枕草子	・自由に記述された随筆を読んで、当時の人々の生活感覚や興味の対象を知り、もの見方・考え方を理解する。 ・随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れているもの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。			○	○	・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・学習の見通しをもって随筆のさまざまな文体や取り上げられた対象に触れ、進んで解釈を深めようとしている。 ・作品に表れたもの見方・考え方や美意識を積極的に理解し、学習課題に沿って自分の考えを伝え合おうとしている。		○	○	○	10	
	訓読に親しむ	・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・漢文を訓読するための基礎知識として、再読文字の種類と読み方を習得する。			○	○	言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・「読むこと」において、文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・故事成語や格言の量を積極的に増やし、漢文が我が国の言語文化と不可分の関係にあることを理解しようとしている。		○	○	○	6	
定期考査								○	○		1		
合計											61		

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 公民 科目 公共

教科：公民

科目：公共

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～B組

教科担当者：

使用教科書：（『公共』 実教出版）

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】社会の変化や科学技術の進展に即した必要な知識・技能を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】社会的事象等の意味や特色など、相互の関連を考察して社会に見られる課題を把握・解決に向けて構想でき

【学びに向かう力、人間性等】主権者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	日本国憲法の基本的性格 【知識及び技能】 憲法が保障する、権利や自由などについての基本事項を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 社会の諸課題に関わる資料から、必要な情報を適切に読み取り、まとめる技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・日本国憲法はどのように成立したか経過について理解する。 ・日本国憲法の三大基本原理は憲法にどのように規定されているのか。 ・憲法で保障されている自由権の内容は、どのようなものだろうか。 ・平等に生きる権利は、日本国憲法にどのように定められているか。 ・新しい人権について理解する。 ・人権と人権が衝突した場合、どのように調整すべきなのだろうか。	【知識・技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 具体的な主題を設定し、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	日本の政治機構と政治参加 【知識及び技能】 法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、諸課題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・国会の役割や権限について理解する。 ・司法制度のあり方や司法参加の意義について理解する。 ・地方自治の本旨や住民の権利について理解する。 ・日本の政党政治や選挙制度の特徴と課題について理解する。 ・マス・メディアや市民運動の意義について理解する。	【知識・技能】 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 合意形成や社会参画を視野に入れながら、諸課題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 多面的・多角的な考察や深い理解を通して、政治参加や地方自治などの課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
後期	現代の経済社会 【知識及び技能】 雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	・経済的な効率性と公平性の対立関係について考える。 ・需給曲線を通して市場メカニズムを考える。 ・市場の効率性と公平性はどのように調整されるべきか考える。 ・企業の役割と社会的責任について考える。 ・経済成長と私たちの豊かな生活について考える。 ・金融を通じた経済活動の活性化について考える。 ・財政の持つ様々な役割について考える。 ・納税者としての立場から租税の在り方について考える。	【知識・技能】 雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通じて資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。 【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	日本経済の特質と国民生活	・歴史的な事象が日本経済に与えた	【知識・技能】				

<p>【知識及び技能】 多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>影響を、統計資料を基に考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会と格差・貧困が経済に与える影響を考える。 ・経済の二重構造に注目して日本経済のあり方を考える。 ・コメの生産と輸入との関係について考える。 ・農業の自由化を背景として改革が進められている農政について考える。 ・消費者行政の内容を知り、契約の権利と責任の関係を考える ・労働法の整備状況や、職場の人権保障について考える。 ・日本の社会保障制度のしくみは、どのようになっているか考える。 	<p>多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題といった現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 地理・歴史 科目 地理総合

教科: 地理・歴史 科目: 地理総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ B組

教科担当者:

使用教科書: (高等学校 地理総合 世界を学び、地域を作る)

教科 地理・歴史 の目標:

- 【知識及び技能】社会の変化や科学技術の進展に即した必要な知識・技能を身に付けようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】社会的事象等の意味や特色など、相互の関連を考察して社会に見られる課題を把握・解決に向けて構想でき
- 【学びに向かう力、人間性等】主権者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	<ul style="list-style-type: none"> 現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解させる。 現代世界の様々な地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けさせる。 現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現させ定期考査 	球面と平面 緯度と経度 日常生活のなかの地図 国家間の結び付き 国家の領域 日本の位置と領域	【知識・技能】 ・現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図などを基に、方位や時差、本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解している。 ・日常生活の中で見られる様々な地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察	○	○	○	12
	<ul style="list-style-type: none"> 世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解させる。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解させる。 定期考査	地形と生活文化 気候と生活文化 急速な経済発展で揺れ動く人々の暮らし(東アジア) ヒンドゥー教と結びつく生活文化(南アジア)	【知識・技能】 ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・世界の人々の特色ある生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・世界の人々の特色ある生活文化と様々な地理的環境との関連性を把握したうえで、そこから見いだされる生活文化の課題について主体的に追究し、その解決策を意欲的に考察・構想しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
後期	<ul style="list-style-type: none"> 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解させる。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解させる。 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 定期考査	人口問題の展開と対策 アンバランスな人口分布 食料問題の要因と解決に向けた課題 エネルギー資源の開発と限界 新たなエネルギー資源への取り組み 地球的課題の解決に向けた国際協力	【知識・技能】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学びに向かう力】 ・地球的諸課題の解決を目指す様々な主体の取り組みへの興味関心を持つとともに、そうした諸課題を国際社会の一員として主体的にとらえ、自分事として落とし込みながら意欲的に解決のあり方を考察・構想しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	・我が国をはじめ世界で見られる自	日本の自然環境	【知識・技能】				

<p>然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けさせる。 ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>第2章</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取組や探究する手法などについて理解させる。 ・生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取組などを多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 <p>定期考査</p>	<p>地震・津波 地震・津波への対策 雪害・高温と対策 火山災害と対策 防災・減災への取り組み</p>	<p>・我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然災害や防災・減災への興味関心を強く持つとともに、自分の住む地域で生じうる自然災害について主体的に追究し、平常時または災害発生時における具体的な備えや取り組み、対応のあり方について積極的に考察・構想しようとしている。 	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 理科 科目 生物基礎

教科: 理科 科目: 生物基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組~ B組

教科担当者:

使用教科書: 高校生物基礎(実況出版)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物について体の成り立ちや進化、遺伝子などをミクロな観点で理解を深め、細胞や臓器の役割について観察、実験などを通じて学習する。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、生物に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
前期	A 生物の特徴 多様な生物が存在する中、共通点を見出す。共通の祖先からそれぞれ生物は多様な進化をとげたことを理解する。体の最小の単位は細胞であり、細胞小器官ごとの役割を理解する	<ul style="list-style-type: none"> 生物の多様性・共通性 生物の共通性と進化 細胞 	【知識・技能】 共通の祖先より進化が行われ多様な生物が出現したことを理解する 【思考・判断・表現】 細胞の観実験を通じて、明確に記録をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を日常生活に結び付けることができる	○	○	○	8
	得られたエネルギーを自分で使える形にするまでの過程を理解する。動物と植物でエネルギーの変換の仕方が異なるためのその差異を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> 代謝とエネルギー 酵素と代謝 光合成 呼吸 	【知識・技能】 光合成と呼吸により光エネルギーをそれぞれ使えるエネルギーに変換できることを説明できる 【思考・判断・表現】 酵素と触媒の実験により、直接化学反応には関わらないが反応を促進する物質があることを観察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を日常生活に結び付けることができる	○	○	○	8
	定期考査			○			1
	B 遺伝子とその働き 遺伝情報について理解する。また、その遺伝情報の複製やタンパク質を合成するための過程を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝子の本体 DNAの複製と分配 遺伝情報とタンパク質 タンパク質の合成 ゲノムと遺伝子 	【知識・技能】 遺伝情報、ゲノム、遺伝子、染色体などの用語を適切に使い分けてDNAの説明をすることが出来る。 【思考・判断・表現】 ブロコリーやミカンジュースからDNAを取り出し、観察することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を日常生活に結び付けることができる	○	○	○	8
定期考査			○			1	
後期	C ヒトのからだの調節 体内環境を一定に保つための生理現象や体の仕組みについて理解する。自律神経やホルモンバランスなどが崩れると体の不調に繋がることを学習する。	<ul style="list-style-type: none"> 体内環境と恒常性 体液 情報の伝達 自律神経系による情報伝達 内分泌系による調節 	【知識・技能】 体内環境を一定に保つための体の仕組みについて説明ができる 【思考・判断・表現】 自律神経について、自身の経験や体調について学習とした内容と照らし合わせて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を日常生活に結び付けることができる。	○	○	○	8
	風邪に対抗する体の仕組みについて理解する。先天的な免疫と後天的に獲得できる免疫があることを学習する。昨今のコロナ禍における症例等と結びつけ指導を行う	<ul style="list-style-type: none"> 生体防御と免疫 自然免疫 獲得免疫 免疫と疾患 	【知識・技能】 自然免疫と獲得免疫の違いについて説明できる 【思考・判断・表現】 風邪になったときの免疫反応について学習した内容と照らし合わせて説明ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 免疫について理解し、ウイルスやワクチンがどのようなものか説明ができる				8
				○			1
	D 生物の多様性と生態系 生態系の成り立ちについて学習する。日本におけるバイオームや世界のバイオームについて見識を広げる	<ul style="list-style-type: none"> 生態系 植生とその変化 遷移のしくみ バイオーム 	【知識・技能】 生態系や植生について説明できる。 【思考・判断・表現】 身近なバイオームについてスケッチを行う 【主体的に学習に取り組む態度】 生態系について、普段見過ごしている身近な環境の成り立ちについて学習した内容と結びつけられる	○	○	○	8
定期考査			○			1	
						合計	
						52	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～B組

教科担当者：

使用教科書：（Amity English Communication I (CI 704)）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の音声・語彙・表現等の理解を深め、それを基本的なコミュニケーションで活用できる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】日常的・社会的な話題について、支援を活用し外国語で情報や考えを理解し、表現、伝え合う力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景文化への理解を深め、他者に配慮し、主体的、自律的にコミュニケーションを図る態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語コミュニケーションⅠの授業・課題を通じ、日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用し、音声・語彙・表現、文法、言語の基本的な働きを理解し、適切に活用できる技能を身につける。	英語コミュニケーションⅠの授業・課題を通じ、コミュニケーションを行う様々な英語の目的や場面、状況に応じ、日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用し、情報や考えを理解し、それを活用し簡単な英語で表現、伝え合う力を養う。	英語コミュニケーションⅠの授業・課題を通じ、多くの支援を活用し、英語の背景にある文化への理解を深める。また他者に配慮しながら、主体的、自律的に簡単な英語を用いてコミュニケーションを図る態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ） 書					
Lesson 1 The Beautiful Scenery 【知識及び技能】お気に入りの場所についての話の概要や要点を読み取る。be動詞・一般動詞の現在形を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】お気に入りの場所に関して、情報や考え、気持ちを話し、聞き取り共有する。 【学びに向かう力、人間性等】お気に入りの場所について、聞き手、話し手に伝え合う。	・指導事項 -お気に入りの場所に関する単語・表現やbe動詞・一般動詞の現在形を学ぶ。 -お気に入りの場所に関するイタビューを聞く。 -お気に入りの場所に関するイタビューし、答える。 ・教材 The Beautiful Scenery ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】お気に入りの場所についての話の概要や要点を読み取る技能を身に付けている。be動詞・一般動詞の現在形を理解している。 【思考・判断・表現】お気に入りの場所に関して、情報や考え、気持ちを話し聞き取り、共有することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】お気に入りの場所の話の理解を深め、聞き手、話し手に主体的に伝え合おうとしている。	○	○	○	7
Lesson 2 My Best Friend 【知識及び技能】親友に関するテーマのちびまる子ちゃんの物語の概要や要点を読み取る。be動詞・一般動詞の過去形を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】大切にしている人について、必要な情報や概要を聞き取り、読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】大切にしている人についての物語に理解を深め、主体的に話を聞き、読む。	・指導事項 -親友についてを題材にした物語文に関する単語・表現やbe動詞・一般動詞の過去形を学ぶ。 -この物語に関する音声教材を聞き、概要を理解する。 ・教材 My Best Friend ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】親友に関するテーマのちびまる子ちゃんの物語の概要や要点を読み取る技能を身に付けている。be動詞・一般動詞の過去形を理解している。 【思考・判断・表現】大切にしている人について、必要な情報や概要を聞き取り、共有することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】大切にしている人について理解を深め、主体的に話を聞き、読もうとしている。	○	○	○	6
定期考査		○			○		○	○		1
Lesson 3 Love for Dance 【知識及び技能】情報機器の使い方や得意なことについて概要や要点を読み取る。助動詞を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】ダンスについての話題について必要な情報や概要を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】得意なことについての話題に理解を深め、主体的に話を聞き、読む。	・指導事項 -情報機器の使い方や得意なことを題材にした文に関する単語・表現や進行形・助動詞を学ぶ。 -ダンスについての話題の文を読み、要点や意見を理解する。 ・教材 Love for Dance ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】情報機器の使い方や得意なことについての概要や要点を読み取る技能を身に付けている。助動詞を理解している。 【思考・判断・表現】ダンスについての話題について、必要な情報や概要を読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】得意なことについての話題に理解を深め、読み手に配慮しながら主体的に書くことができる。	○	○	○	6
Lesson 4 Endangered Species 【知識及び技能】世界の絶滅危惧種が題材の文章の概要や要点を読み取る。受動態を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】絶滅しつつある動物について情報や考えを話し、聞き取っている。 【学びに向かう力、人間性等】世界の絶滅危惧種が題材の文章に理解を深め、主体的に話を聞き、読む。	・指導事項 -世界の絶滅危惧種が題材の文章に関する単語・表現や不定詞を学ぶ。 -絶滅しつつある動物についての文章を読み、概要やメッセージを理解する。 ・教材 Endangered Species ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】世界の絶滅危惧種が題材の文章の概要や要点を読み取る技能を身に付けている。不定詞を理解している。 【思考・判断・表現】絶滅しつつある動物について情報や考えを話し、聞き取っている。 【主体的に学習に取り組む態度】世界の絶滅危惧種が題材の文章に理解を深め、主体的に話を聞き、読もうとしている。	○	○	○	6
Lesson 5 The History of Chocolate 【知識及び技能】チョコレートの歴史に関する文章の概要や要点を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】贈りたいプレゼントについて情報や考えを話し、聞き取っている。 【学びに向かう力、人間性等】チョコレートの歴史に理解を深め、主体的に話を聞き、読む。	・指導事項 -チョコレートの歴史に関する文章に関する単語・表現や動名詞を学ぶ。 -チョコレートの歴史に関する文章を読み、要点や詳細を理解する。 -贈りたいプレゼントを選定し、その内容と理由を発表する。 ・教材 The History of Chocolate ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	【知識・技能】チョコレートの歴史に関する文章の概要や要点を読み取る技能を身に付けている。動名詞を理解している。 【思考・判断・表現】チョコレートの歴史について情報や考えを聞き、読み取っている。自分自身が贈りたいプレゼントについて発表している。 【主体的に学習に取り組む態度】チョコレートの歴史に関する文章に理解を深め、主体的に理解し、発表しようとしている。	○	○	○	6
定期考査		○			○		○	○		1

前期

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ B組

教科担当者：

使用教科書：（新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての他者や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力にある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身に付けることができる。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養おうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p><陸上競技（短距離走）> 【知識及び技能】 合理的なフォームを身に付けたり、個人タイムを短縮したり、競走したりできる。 【思考力、判断力、表現力】 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに競技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>	<p><陸上競技（短距離走）> ・短距離走 ・記録測定 ・ふりかえりシート ・一人1台端末の活用(場面)</p>	<p>【知識・技能】 ・合理的なフォームを理解し身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ・動きを比較して、成果や改善点を仲間に伝える。 ・技術的な課題解決について練習方法を伝える。 ・ルールを守りより良いマナーについて活動を振り返る。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習に自主的に取り組もうとしている。 ・フェアプレイを大切にしている。 ・個々に応じた課題や挑戦を大切にしている。 ・健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	10
<p><球技（ソフトバレーボール）> 【知識及び技能】 次の攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さや位置にボールを上げることができる。 【思考力、判断力、表現力】 体力や技能の程度に配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	<p><球技（ソフトバレーボール）> ・アンダーパス オーバーパス ・実技テスト ・ふりかえりシート ・一人1台端末の活用(場面)</p>	<p>【知識・技能】 オーバーハンドパスとアンダーハンドパスをプレイしやすい高さや位置にあげることができる。 【思考・判断・表現】 体力や技能の程度に配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけている。 【主体的に学習に取り組む態度】 同じチームのメンバーと作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p><球技（卓球）> 【知識及び技能】 卓球の基本的なルールと打ち方を理解しており、狙った場所にサーブやストロークを打つことができる。 【思考力、判断力、表現力】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 卓球に自主的に取り組み、フェアなプレーを大切にしようとしている。</p>	<p><球技（卓球）> ・フォアハンド バックハンド ・サーブ ・実技テスト ・ふりかえりシート ・一人1台端末の活用(場面)</p>	<p>【知識・技能】 サーブやストロークで相手コートに狙った場所に打つことができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 卓球に自主的に取り組み、練習やゲームでフェアなプレーを大切にしている。</p>	○	○	○	10
<p><体ほぐし運動（縄跳び）> 【知識及び技能】 体力の向上を図り、縄跳びの基本技や規定演技を安定して行うことができる。 【思考力、判断力、表現力】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えていく。</p>	<p><体ほぐし運動（縄跳び）> ・縄跳び ・検定 ・ふりかえりシート ・一人1台端末の活用(場面)</p>	<p>【知識・技能】 基本技や規定演技の検定を受け、合格することができる。 【思考・判断・表現】 自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えていく。</p>				

後期	<p>自己や仲間が技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>縄跳びの学習に自主的に取り組もうとしている。</p>		<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自主的に練習に取り組む、積極的に検定を受けている。</p>	○	○	○	10
	<p><球技（バスケットボール）></p> <p>【知識及び技能】</p> <p>ゴールの枠内にシュートをコントロールしてシュートを打ったり、味方が操作しやすいパスを送ったり、相手から奪われず次のプレーがしやすいようにボールをキープしたりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>バスケットの学習に自主的に取り組もうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正を大切にしようとしている。</p>	<p><球技（バスケットボール）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドリブル シュート 各種パス ・ビポット ・実技テスト ・ふりかえりシート ・一人1台端末の活用(場面) 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 ・見方が操作しやすいパスを送ることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法について、自己の考えを伝えていく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>バスケットの学習に自主的に取り組もうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正を大切にしようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p><陸上競技（長距離走）></p> <p>【知識及び技能】</p> <p>自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけていくことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>陸上競技の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>	<p><陸上競技（長距離走）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・持久走 ・記録測定 ・ふりかえりシート ・一人1台端末の活用(場面) 	<p>【知識・技能】</p> <p>自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して一定の距離を走り通し、タイムを短縮して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正のしかたを見つけていく。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>陸上競技の学習に自主的に取り組み、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。</p>	○	○	○	10
	合計						

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～ B組

教科担当者：

使用教科書：（新高等保健体育 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができる。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養おうとしている。

前期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 現代社会と健康 【知識及び技能】 健康の考え方についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、国民の健康課題についての知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めようとしている。	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康の姿 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・健康についての多様な考え方を身に付け、例を挙げて説明できる。・わが国の健康水準の変化とその背景を理解し、新たな健康問題を整理することができる。 【思考・判断・表現】 ・様々な健康の考え方や健康の成立要因について身近な例を列挙することができる。・わが国の健康水準の変化とその背景や健康問題について、新たな視点で考えることができる。・習得した知識を基に、自分や家族の健康について考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。	○	○	○	3
	B 現代社会と健康 【知識及び技能】 生活習慣病の予防と回復やがんの原因と予防について理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生活習慣病に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めようとしている。	・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・生活習慣病の予防と回復についての理解を深め、健康的な生活習慣について例を挙げて説明できる。・がんの原因と予防についての理解を深め、がんを予防するための対策を整理することができる。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病の予防と回復について、身近な例を列挙することができる。・生活習慣病の予防とがんの原因と予防について関連させて考え、新たな視点でまとめることができる。・習得した知識を基に、自分や家族の健康について考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。	○	○	○	4
	C 現代社会と健康 【知識及び技能】 がんの治療と回復についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 がんの治療と回復や運動と健康に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。	・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・がんの治療と回復についての理解を深め、主な治療法や緩和ケア及び検診の普及などの社会的な対策について説明できる。・運動と健康についての理解を深め、目的に応じた健康的な運動のしかたについて例を挙げて整理することができる。 【思考・判断・表現】 ・がんの治療と回復について、いくつかの事例を基に社会的な対策の改善策を考えることができる。・運動と健康について、生涯を見通した健康管理策を考え、新たな視点でまとめることができる。・習得した知識を基に、自分や家族の健康について考え、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。	○	○	○	4
	D 現代社会と健康 【知識及び技能】 食事と健康及び休養や睡眠と健康に	・食事と健康 ・休養・睡眠と健康 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・食事と健康についての理解を深め、健康的な食事のとり方について説明できる。・休養及び				

	<p>ついでに課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 食事と健康および級や睡眠と健康に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。</p>	<p>睡眠と健康についての理解を深め、適切な休養のとり方や健康に良い睡眠のとり方について例を挙げて説明することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・食事と健康について、自分の食生活を客観的に振り返り健康的な改善策を考えることができる。・休養及び睡眠と健康について、自己の生活習慣の課題に気づき、新たな視点でまとめることができる。・習得した知識を基に、自分や家族の健康について考え、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。</p>	○	○	○	4	
	定期考査		○	○		1	
	<p>E 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】喫煙や飲酒、薬物乱用と健康についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 喫煙や飲酒、薬物乱用と健康に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。</p>	<p>・喫煙と健康・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・喫煙及び飲酒と健康についての理解を深め、喫煙や飲酒によって引き起こされる害や個人及び社会的対策について説明できる。・薬物乱用と健康についての理解を深め、薬物乱用の負の影響について例を挙げて説明することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・喫煙及び飲酒と健康について、いくつかの事例を基に生活上の注意点等を考えることができる。・薬物乱用と健康について、個人的対策や社会的対策の要点を整理し、新たな視点でまとめることができる。・習得した知識を基に、自分や家族の健康について考え、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。</p>	○	○	○	5
	<p>F 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 精神疾患の特徴や予防及び回復についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 精神疾患の特徴や予防及び回復に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。</p>	<p>・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・精神疾患の特徴や予防についての理解を深め、発病の要因や予防策について説明できる。・精神疾患からの回復についての理解を深め、治療や回復のために必要な社会環境について例を挙げて説明することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・精神疾患の特徴や予防について、いくつかの事例を基に生活上の注意点等を考えることができる。・精神疾患からの回復について、治療や支援及び社会環境の整備に関する要点を整理し、新たな視点でまとめることができる。・習得した知識を基に、自分や家族の健康について考え、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。</p>	○	○	○	3
後期	<p>現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 現代の感染症、感染症の予防、性感染症・エイズとその予防についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 現代の感染症、感染症の予防、性感染症・エイズとその予防に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 感染症への理解を実生活に活用し、明るく豊かな生活を営む態度を身に付けるため、授業内容を自分自身に置き換えて学びを深めることができる。</p>	<p>・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症 ・エイズとその予防 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・現代の感染症及び予防についての理解を深め、感染と流行の要因やその分類、対策について説明できる。・性感染症・エイズとその予防についての理解を深め、ほかの感染症との違いや対策について例を挙げて説明することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・現代の感染症及び予防について、いくつかの事例を基に生活上の注意点等を考えることができる。・性感染症・エイズとその予防について、要点を整理し、新たな視点でまとめることができる。・習得した知識を基に、自分や家族の健康について考え、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。</p>	○	○	○	3
	<p>H 現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当及び心肺蘇生法についての課題を理解し、その解決を目指した活動を通して、知識及び技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 応急手当の意義とその基本、日常的な応急手当及び心肺蘇生法に関連する内容について、知識を基に改善策等を考え、的確に他者に伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 救命するには迅速な対応が必要である。</p>	<p>・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・応急手当の意義とその基本についての理解を深め、意義を説明し、傷病者の確認・観察ポイントを説明できる。・日常的な応急手当及び心肺蘇生法についての理解を深め、けがや熱中症の手当及び心肺蘇生法の要点について説明したり、実践したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・応急手当の意義とその基本について、いくつかの事例を基に注意点等を考えることができる。・日常的な応急手当及び心肺蘇生法について、要点を整理し他者に伝えたり、実践することができる。・習得した知識を基に、自分や家族の健康について考え、表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	3

<p>なことを理解し、双葉の台本は自身に置き換えて学びを深めることができる。</p>		<p>【主体的に自ら取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書内容等を理解し、工夫して記録を残している。 ・端末を活用し、テーマにそった調べ学習に取り組める。 ・他者の意見を傾聴し、自分の意見を再考しようとする。 				
<p>定期考査</p>			○	○		1
						合計
						30

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（ 東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造 ）

教科 家庭

の目標：

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する。

【知識及び技能】人間の障害にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家庭・家族、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に想像しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	時配 数当	
前期	第3章 子どもと共に育つ	【使用教材】 個人端末、プリント 【指導項目・内容】 ・18歳成年 ・ライフプラン	【知識及び技能】 ・青年期の課題である自立について理解を深めている。 ・親の役割と保育について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・子供の健やかな発達を支えるために、子供との適切な関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、子供との関わりと保育・福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、	○	○	○	7
	第4章 超高齢社会を共に生きる	【使用教材】 個人端末、プリント 【指導項目・内容】 ・消費生活と意思決定 ・購入と契約 ・多様化する支払い方法 ・消費者の権利と責任	【知識及び技能】 ・高齢者を取り巻く社会環境の変化や課題について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりと福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るため	○	○	○	12
後期	第5章 共に生き、共に支える	【使用教材】 個人端末、プリント 【指導項目・内容】 私たちの生活と福祉	【知識及び技能】 ・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解している。 ・家庭と地域との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもち、様々な人々との関わり方について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 食生活の改善に主体的に取り組み、実践しよ	○	○	○	10
	第6章 食生活をつくる	【使用教材】 個人端末、プリント 【指導項目・内容】 食生活の課題について考える	【知識及び技能】 ・食生活を取り巻く課題など、食と人との関わりについて理解している。 ・ライフステージの特徴や課題に着目し、健康や環境に配慮した食生活について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	10
						合計	39

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ B 組

教科担当者：

使用教科書：（音楽1 Tutti+ 教育出版）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解し、表現するための技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】芸術とその表現について深く味わったり、創造的な表現をしようすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心を培い、豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 音楽 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・音楽の構造や、その文化的・歴史的背景などとの関わりを理解する。 ・音楽の多様性について理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付ける。	・自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することができるようにする。 ・音楽の良さや特徴を評価しながら、自ら味わって聴くことができるようにする。	・主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育む。 ・音楽の感性を高め、その文化に親しみ音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創						
前期	無伴奏混声四部合唱の響きを味わおう。 【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声とのかかわりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素を知覚し、それら感受しながら、歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・アカペラ合唱の響きの特徴を捉え全体の響きを意識して合唱する。 ・読譜に必要な知識を身に付ける。 ・パ ・楽典学習プリント ・実技テスト	○			【知識及び技能】言葉の特性と合唱にふさわしい発声とのかかわりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に合唱練習に取り組んでいる。	○	○	○	10
	楽曲の特徴を捉え良さと美しさを感じ取ろう。 【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力、人間性等】自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考	・様々な演奏形態の音楽を鑑賞する。 ・「オーケストラ曲」「独奏曲」「歌曲」 ・鑑賞カードに記入する。				【知識及び技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【学びに向かう力、人間性等】自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考	○	○	○	10
後期	ギター演奏に親しもう 【知識及び技能】楽器の音色や奏法との関わりについて知り、ギターの特徴を生かして演奏する。音楽を形づくっている要素、及び音楽に関する用語や記号などについて音楽のおける働きと関わらせて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】表現形態の特徴を生かし、他者との調和を意識して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】他者との調和を意識し、主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・クラシックギター、popsギター 音楽を鑑賞する。 ・「明日があるさコード弾き歌い」「第三の男のテーマトリオ合奏」 ・個人実技テスト・発表会形式テスト	○	○	○	【知識及び技能】楽器の音色や奏法との関わりについて知り、ギターの特徴を生かして演奏する。音楽を形づくっている要素、及び音楽に関する用語や記号などについて音楽のおける働きと関わらせて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】ギターアンサンブルの形態の特徴を生かし、他者との調和を意識して演奏している。 【学びに向かう力、人間性等】他者との調和を意識し、主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	○	○	○	10
	世界の芸術歌曲に親しもう 【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声とのかかわりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組み音楽を愛好する心情を養う。	・イタリア歌曲・ドイツ歌曲・シャンソン・日本歌曲を独唱や少人数アンサンブルをする。 ・個人実技テスト			○	【知識及び技能】言葉の特性と曲種に応じた発声とのかかわりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、他者との調和を意識して歌う技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、近しくしたことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って歌唱表現を創意工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に取り組んでいる。				12
合計										42

教科： 情報

科目： 情報Ⅰ

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ 組

使用教科書： ()

教科 情報

の目標： 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識および技能を身に付くとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

【知識及び技能】

情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を

【学びに向かう力、人間性等】

情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ

の目標： 問題の発見・解決に向けて、事象を情報とその結び付きの視点から捉え、情報技術を適切かつ効果的に

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知
前期	<p>B データの活用</p> <p>【知識及び技能】 データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトの活用 プレゼンテーションソフトの活用 情報量の計算 文字コードの成り立ち (教育的効果の観点から、一人1台端末の使用ではなく、CALL教室のパソコンを一人1台使用) 	<p>【知識・技能】 データの内容や形式を踏まえて、その収集方法を理解するとともに技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要なデータの収集について、選択、判断し、それに応じて適切なデータの整理や変換の方法を判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。</p>	○
	<p>B データの活用</p> <p>【知識及び技能】 データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトの活用 プレゼンテーションソフトの活用 情報量の計算 文字コードの成り立ち (教育的効果の観点から、一人1台端末の使用ではなく、CALL教室のパソコンを一人1台使用) 	<p>【知識・技能】 データの内容や形式を踏まえて、その収集方法を理解するとともに技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 必要なデータの収集について、選択、判断し、それに応じて適切なデータの整理や変換の方法を判断することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 問題の発見・解決にデータを活用するために、適切なデータの選択や、分析の仕方、解釈の仕方について、粘り強く取り組み、試行錯誤を通じて改善しようとしている。</p>	○
	定期考査			

け、実際に活用する力を養うと
人との関わりについての理
養う。

活用する力を育む。

【等】
にも、情報社会に主体的

思	態	配当時 数
○	○	18
○	○	9
○		1